1面下段より

端末を活用した動画配信を行っては。

**答弁**　タブレット端末への意見文作品集の配布も含め、引き続き検討していく。

**質問**　事務報告書において、部活動指導員の集計は人数となっているが、補助員を回数とした理由は。

**答弁**　部活動指導補助員は不定期に指導補助を行っている場合も多くあるため。

**質問**　供用開始から長年が経過している総合スポーツセンターについて、大規模修繕や建て替えを行うなど、今後の考え方は。

**答弁**　過去の経過も踏まえ、都等と話し合い、市民の声を聞きながら対応していく。

## 都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

**質問**　コンビニエンスストアでの証明書発行は、職員の負担軽減につながるため、拡充すべき。戸籍謄本の発行について、進捗は。

**答弁**　国の電子化の動向を注視する中、システム更新等の際に実施の可否も含めて総合的に検討していく。

**質問**　養育費確保支援補助金の申請が少ない理由として、制度を知らなかった方が多いことが考えられる。対象者へどのようなアプローチをしているのか。

**答弁**　市民課へ離婚届を取りに来た市民に、お知らせを渡している。

**質問**　ＨＰＶワクチンの男性接種について、男女ともに関わる感染症であるという知識を身に付けることが重要と考える。学校におけるがん教育での取り扱いは。

**答弁**　自身や周囲の健康を守るという視点で、検診や予防接種の内容も含めて、がん教育を実施している。

**質問**　防災士の資格取得について、令和7年度は10名が取得したとのことだが、今後の展開は。

**答弁**　8年度も各団体へ資格取得の依頼をしている。今後は、市全体の防災士協議会等を立ち上げ、防災力の向上に努めていきたい。

**質問**　学区内に特別支援学級がなく、学区外から通っている子どももいる。市内全域に増設していく考えは。

**答弁**　特別支援教育の推進計画の中で、増設に向けた検討について示している。

**質問**　介護保険について、①地域密着型介護サービスの実績が6年度より減少しているが、要因は。②市内のケアマネージャーが減少している。見解は。

**答弁**　①介護人材不足等による事業者数の減が主な要因と考える。②なり手不足等の課題に対し、国・都・市で介護人材対策を実施している。引き続き人材の確保・定着に取り組んでいく。

## 日本共産党昭島市議団

**質問**　横田基地問題について、パラシュート落下事故やＣＶ-22オスプレイの緊急着陸など、市民の不安は高まっており、目視調査の再開を求めるべき。見解は。

**答弁**　引き続き都と基地周辺市町と連携しながら、国等へ要請していきたい。

**質問**　障害者の相談業務について、困難なケースへの専門的支援や地域生活拠点を機能させるための中核的な役割として、基幹相談支援センターを設置する考えは。

**答弁**　相談業務機能については早々に設置すべく、現在、関係機関と調整を図っている。

**質問**　ＰＦＡＳ問題について、継続的な独自調査を行うべき。令和9年度に実施する考えは。

**答弁**　8年度に市独自で15か所の調査を行い、市内全域で一定程度の確認ができたため、実施の予定はない。

**質問**　ＧＬＰ昭島プロジェクトにおける雨水貯留浸透施設について、昨今の気候変動により、降雨強度だけで雨水管理の適正さを判断するのは困難では。

**答弁**　建物の形状や施設の規模などの詳細が明らかになっていないため、全ての状況を加味した上での浸透能力の精査が必要になってくると考える。

**質問**　スクールロイヤー制度について、子どもたちの権利がどれだけ守られるのかが重要であると考えるが、どのような効果が得られたのか。

**答弁**　子どもの最善の利益を図るという大きな目的に従い、子どもの権利を踏まえた助言を得ている。

**質問**　国民健康保険特別会計に3億円を超える剰余金が生じているが、収支の差をどう評価しているのか。

**答弁**　一般会計から赤字補填分として繰り入れた部分の剰余金と認識している。

## みらいネットワーク

**質問**　身寄り問題について、社会福祉協議会と更に連携を深め、予算確保を図るべき。考えは。

**答弁**　継続性・計画性のある事業実施の視点も含めた中で、予算協議を行っていく。

**質問**　公害調査測定等経費について、ＧＬＰ昭島プロジェクトを踏まえて拡充した調査の状況は。

**答弁**　大気調査と自動車騒音調査を拡充している。

**質問**　住居確保について、居住支援協議会の設立などの検討状況は。

**答弁**　まずは、都の居住支援協議会にオブザーバーとして参加し、情報収集や関係団体とのネットワークづくりに努めている。

## 令和７年度各会計決算額

**一般会計**
歳入　580億8061万7411円
歳出　552億5126万1629円

**国民健康保険特別会計**
歳入　115億2927万1655円
歳出　111億9760万7678円

**介護保険特別会計**
歳入　104億8057万9532円
歳出　102億3316万2538円

**後期高齢者医療特別会計**
歳入　34億3799万2316円
歳出　34億2704万9464円

**中神土地区画整理事業特別会計**
歳入　4億5026万2380円
歳出　4億4838万8500円

**中神駅北側地域整備事業特別会計**
歳入　7億9460万8199円
歳出　7億6123万　284円

**水道事業会計**
【収益的収入及び支出】
収入　19億5675万9307円
支出　16億6400万4799円
【資本的収入及び支出】
収入　1008万6000円
支出　8億5139万4117円

**下水道事業会計**
【収益的収入及び支出】
収入　24億8277万4327円
支出　22億6985万3833円
【資本的収入及び支出】
収入　4億3859万5700円
支出　12億6370万8628円

## 本会議において賛否の分かれたもの（決算）　○は賛成　×は反対

| 件名＼会派名（）内は議員数 議長は含まれない | 採決の結果 | 無会派 (1) | 無会派 (1) | みらいネットワーク (2) | 都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団 (3) | 日本共産党昭島市議団 (3) | 公明党昭島市議団 (5) | 自由民主党昭島市議団 (4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和７年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について | 認定 | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

# 討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

## 令和7年度一般会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

### 反対
**日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員**

市の決算状況は財政上の余裕があり、相対的に安全で、国民健康保険税の引き下げや中小企業への賃上げ支援、教育費無償化の検討など、更なる物価高騰対策は可能であったと考える。

また、施設整備における地域住民や当事者との対話の不足、市民不在のまちづくり条例策定等、市政運営の根本である市民との対話によるまちづくりに逆行していると指摘する。

さらに、子どもの貧困対策実行計画の策定やＧＬＰ昭島プロジェクトに係る三者協議会の設置、ＰＦＡＳ汚染に対する継続的な井戸の市独自調査を実施すべき。

以上の点を指摘し、本決算に反対する。

### 賛成
**自由民主党昭島市議団　小林　こうじ　議員**

市税を中心に予算以上の歳入を確保した上で、効果的な予算執行を徹底し、生まれた決算剰余金についても、半分を基金に積み立て将来に備えるとともに、長引く物価高騰対策として、引き続き水道料金・下水道使用料減免事業を実施した。

また、子育て応援手当支給事業など、刻々と変化する状況に応じて早期に各種事業を実施し、市民及び事業者の支援に活用したことは、高く評価している。

引き続き中長期的な財政見通しの下、持続可能な行財政運営の推進を図りながら、地域振興に対する支援など、市民や事業者に寄り添った事業展開を願い、本決算に賛成する。

### 賛成
**公明党昭島市議団　大島　ひろし　議員**

普通交付税が流動的である昨今の財政状況にもかかわらず、決算収支が黒字となっており、安定的な財政運営と評価できる。各種施策に対し、適切な執行が実施された決算となっている。

家庭用防犯カメラ設置費補助事業や防災士資格取得推進事業、ＨＰＶワクチン男性任意接種事業や学校給

3面下段へ続く